



東洋炭素株式会社

2016年12月期第2四半期 決算説明資料

2016年8月

東洋炭素株式会社

**事業環境**

- 1. カーボン業界におけるポジショニング P. 3
- 2. 事業展開イメージ 領域 P. 4
- 3. 事業展開イメージ 地域 P. 5

**第1部 連結決算概要**

- 1. 2016年12月期第2四半期 決算のポイント P. 7
- 2. 2016年12月期第2四半期 業績 P. 8
- 3. 営業利益増減要因 P. 9
- 4. 製品・分野別売上高 P. 10
- 5. 地域別売上高 P. 12
- 6. 2016年12月期 業績予想 P. 13
- 7. 設備投資・減価償却費・研究開発費 P. 14
- 8. 株主還元 P. 15
- 9. 2016年12月期第2四半期 P. 16

**連結貸借対照表および連結キャッシュ・フロー計算書****第2部 事業構造改革の進捗**

- 1. 数値目標における進捗 P. 18
- 2. 重点施策の進捗 P. 19

## カーボン業界

カーボンブラック

黒鉛電極

### 当社事業領域: 高機能・高付加価値分野に特化

#### 特殊炭素

##### 特殊黒鉛製品 (等方性黒鉛)

熱テクノロジーマテリアル事業部

- ・エレクトロニクス分野
- ・一般産業分野
- ・その他

- ・業界の供給能力過多
- ・価格競争激化
- ・収益構造悪化
- ・太陽電池市場における中国ローカルメーカーの抬頭

##### 一般カーボン製品

トライボロジー事業部

- ・機械用カーボン分野
- ・電気用カーボン分野

- ・比較的安定した収益構造

##### 複合材その他製品

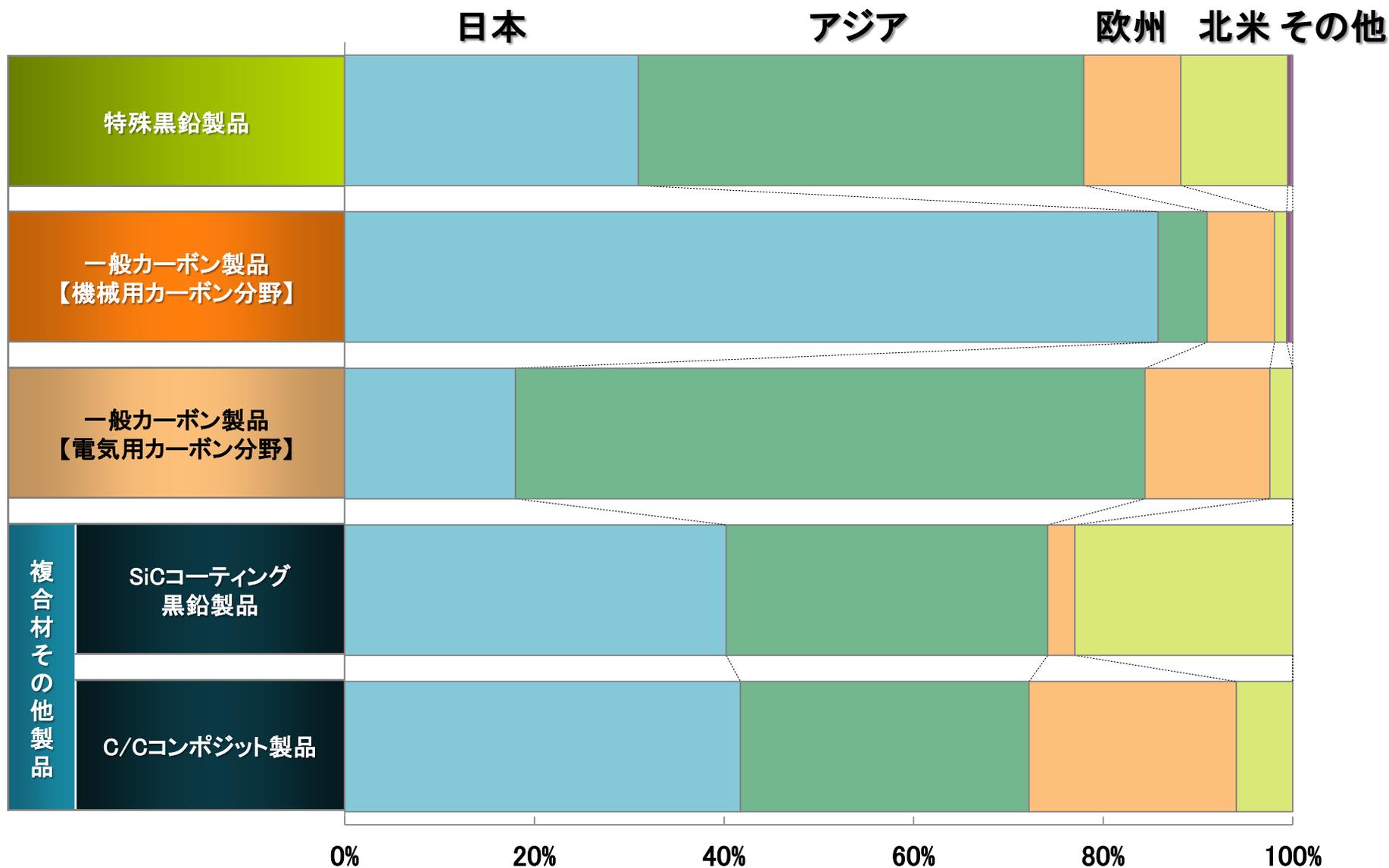
熱テクノロジーマテリアル事業部 高機能ケミカル事業部

- ・SiCコーティング黒鉛製品
- ・C/Cコンポジット製品
- ・黒鉛シート製品

- ・高付加価値製品群
- ・異素材との複合化等による新規素材創出の取組

# 事業環境 2. 事業展開イメージ 領域

|                         |                   | エレクトロニクス領域 |                   |       | 一般産業<br>機械領域          | 輸送機器<br>領域    | 電気領域 | 先端領域          |
|-------------------------|-------------------|------------|-------------------|-------|-----------------------|---------------|------|---------------|
|                         |                   | 太陽電池       | 半導体               | LED   |                       |               |      |               |
| 事業環境・当社状況               |                   | 価格競争       | 長寿命化              | 高品質要求 |                       | グローバル<br>展開強化 |      | グローバル<br>展開強化 |
| 特殊黒鉛製品                  |                   | ◎          | ◎                 | ○     | ◎<br>価格競争<br>短納期要求    |               |      | ○             |
| 一般カーボン製品<br>【機械用カーボン分野】 |                   |            |                   |       | ◎                     | ◎             | ○    |               |
| 一般カーボン製品<br>【電気用カーボン分野】 |                   |            |                   |       |                       | ◎             | ◎    |               |
| 複合材その他製品                | 【主要3製品】           |            |                   |       |                       |               |      |               |
|                         | SiCコーティング<br>黒鉛製品 | ○          | ◎                 | ◎     |                       |               |      |               |
|                         | C/Cコンポジット<br>製品   | ◎          | ◎                 |       | ◎<br>他素材からの<br>置き換え需要 |               |      | ○             |
|                         | 黒鉛シート<br>製品       | ○          | ◎                 |       | ○                     | ◎             |      |               |
| 新規<br>開発品               | 多孔質炭素<br>CNovel™  |            |                   |       |                       |               |      | ○             |
|                         | グリーン<br>イノベーション   |            | ○<br>次世代<br>半導体向け |       |                       |               |      |               |



東洋炭素株式会社

**2016年12月期第2四半期 決算説明資料**

---

**第1部 連結決算概要**

## ポイント1

今期より、着実に利益確保できる事業体質への転換、将来の成長発展のための基盤整備を目的とした事業構造改革を実施。聖域なき改革を断行。

## ポイント2

売上高は、前年同期比・予想比ともに下回ったものの、円高による目減り除けばほぼ同水準。

## ポイント3

営業利益は、円高や貸倒引当金1.4億円のマイナス要因があったものの、限界利益の改善や固定費削減等が寄与、前年同期比・予想比いずれもプラスで着地。  
経常利益は、為替差損と通貨オプション益のNET▲ 4.2億円が営業利益の増益効果を消し、前年同期比・予想比いずれも下回った。

## ポイント4

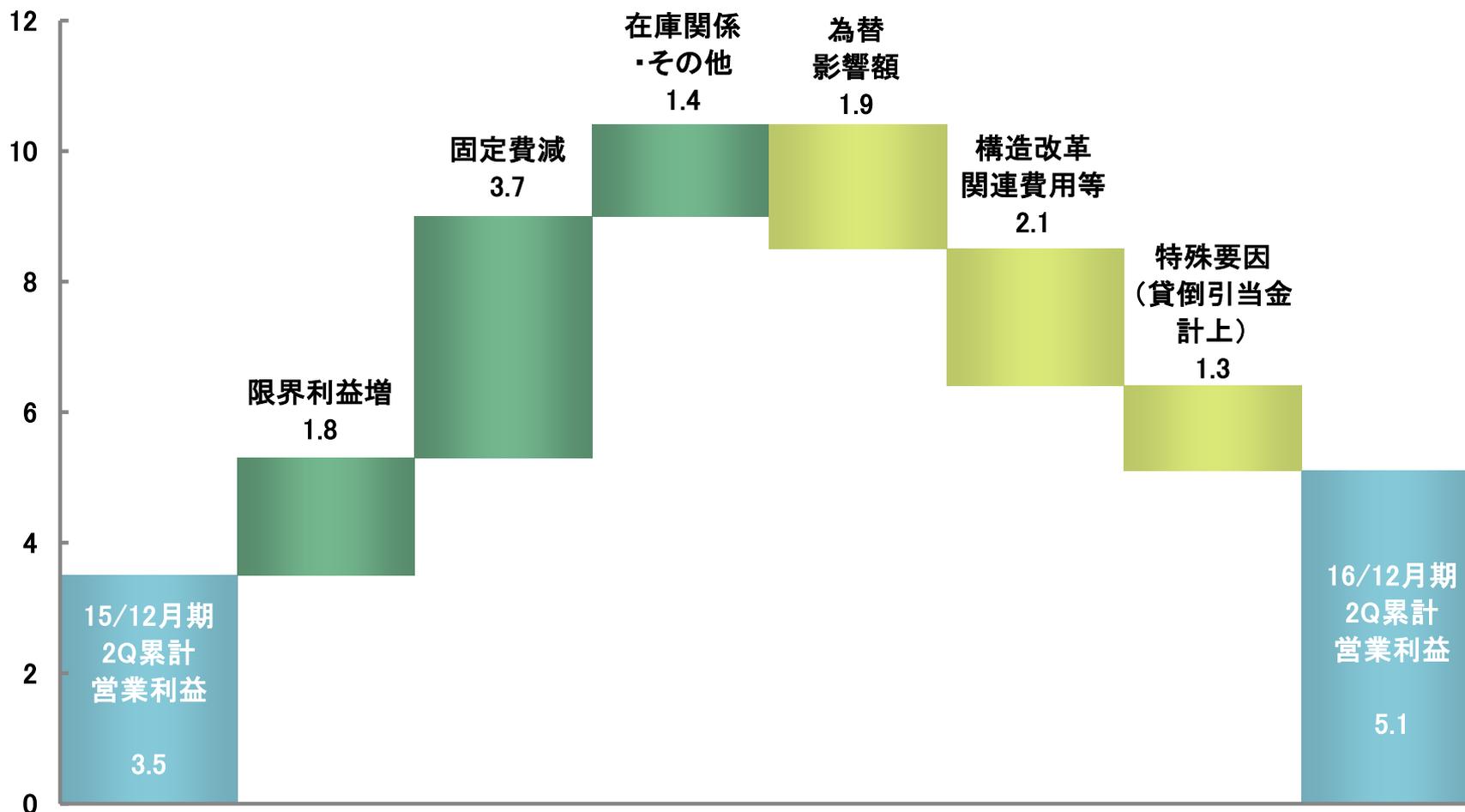
親会社株主に帰属する四半期純利益は、補助金収入7.4億円を計上するも、製造設備の減損損失2.9億円の計上・繰延税金資産2.8億円取り崩しにより、前年同期比は下回ったが、予想比では+3.9億円で黒字転換。

# 第1部 2. 2016年12月期第2四半期 業績

| (単位: 百万円)                | 15/12月期<br>2Q累計                    | 16/12月期<br>2Q累計                    | 増減               |
|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------|
| 売上高                      | 17,673                             | 16,941                             | ▲ 731 / ▲ 4.1 %  |
| 営業利益                     | 353                                | 513                                | 159 / 45.2 %     |
| (売上高営業利益率)               | 2.0%                               | 3.0%                               |                  |
| 経常利益                     | 499                                | 257                                | ▲ 241 / ▲ 48.4 % |
| (売上高経常利益率)               | 2.8%                               | 1.5%                               |                  |
| 親会社株主に<br>帰属する<br>四半期純利益 | 387                                | 241                                | ▲ 146 / ▲ 37.7 % |
| 1株当たり<br>四半期純利益          | 18円70銭                             | 11円65銭                             |                  |
| 為替レート<br>(期中平均)          | 120.2円/\$<br>134.2円/€<br>19.3円/人民元 | 111.9円/\$<br>124.7円/€<br>17.1円/人民元 |                  |

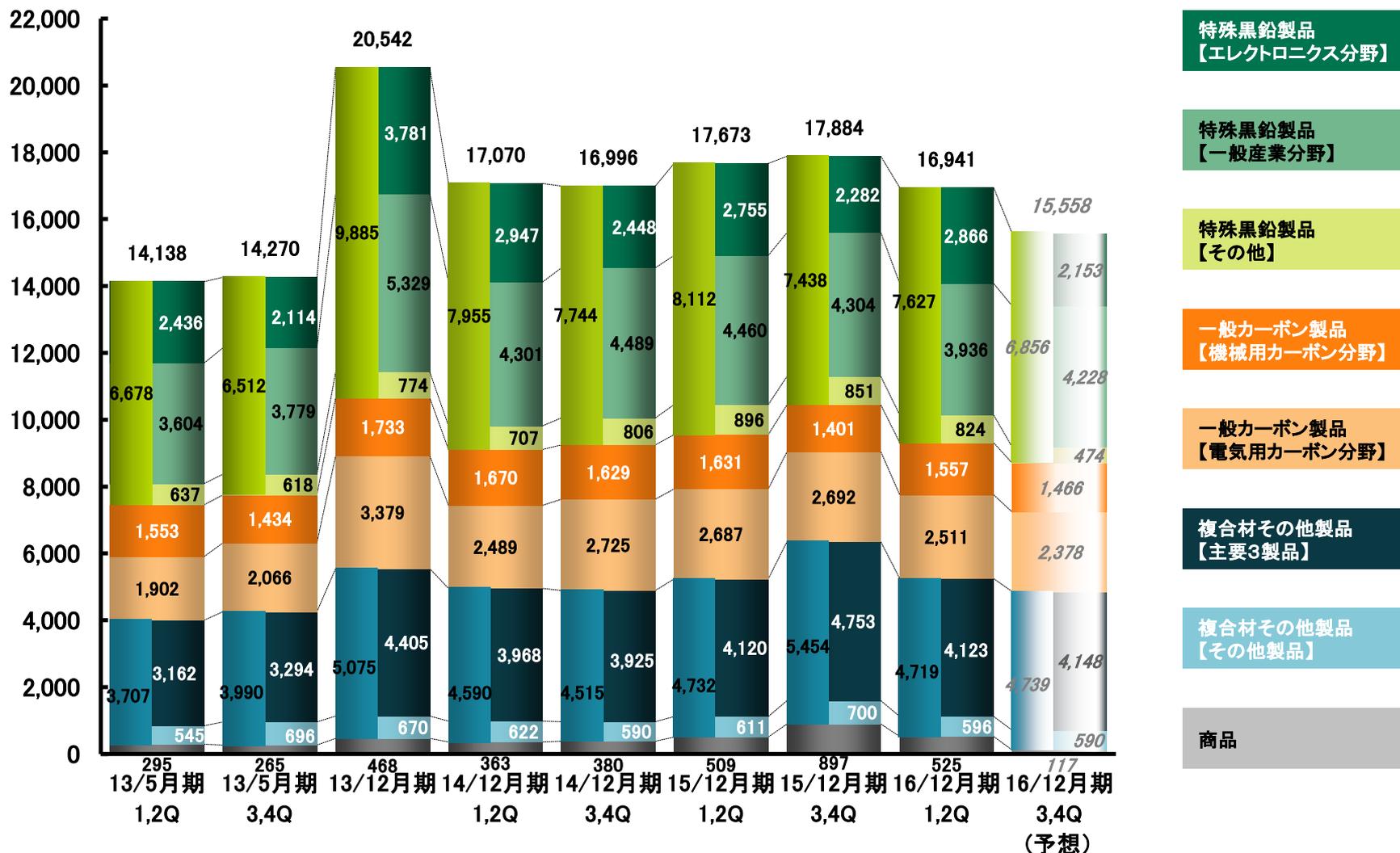
# 第1部 3. 営業利益増減要因 (2015年12月期2Q累計 vs 2016年12月期2Q累計)

(単位:億円)



# 第1部 4. 製品・分野別売上高

(単位:百万円)

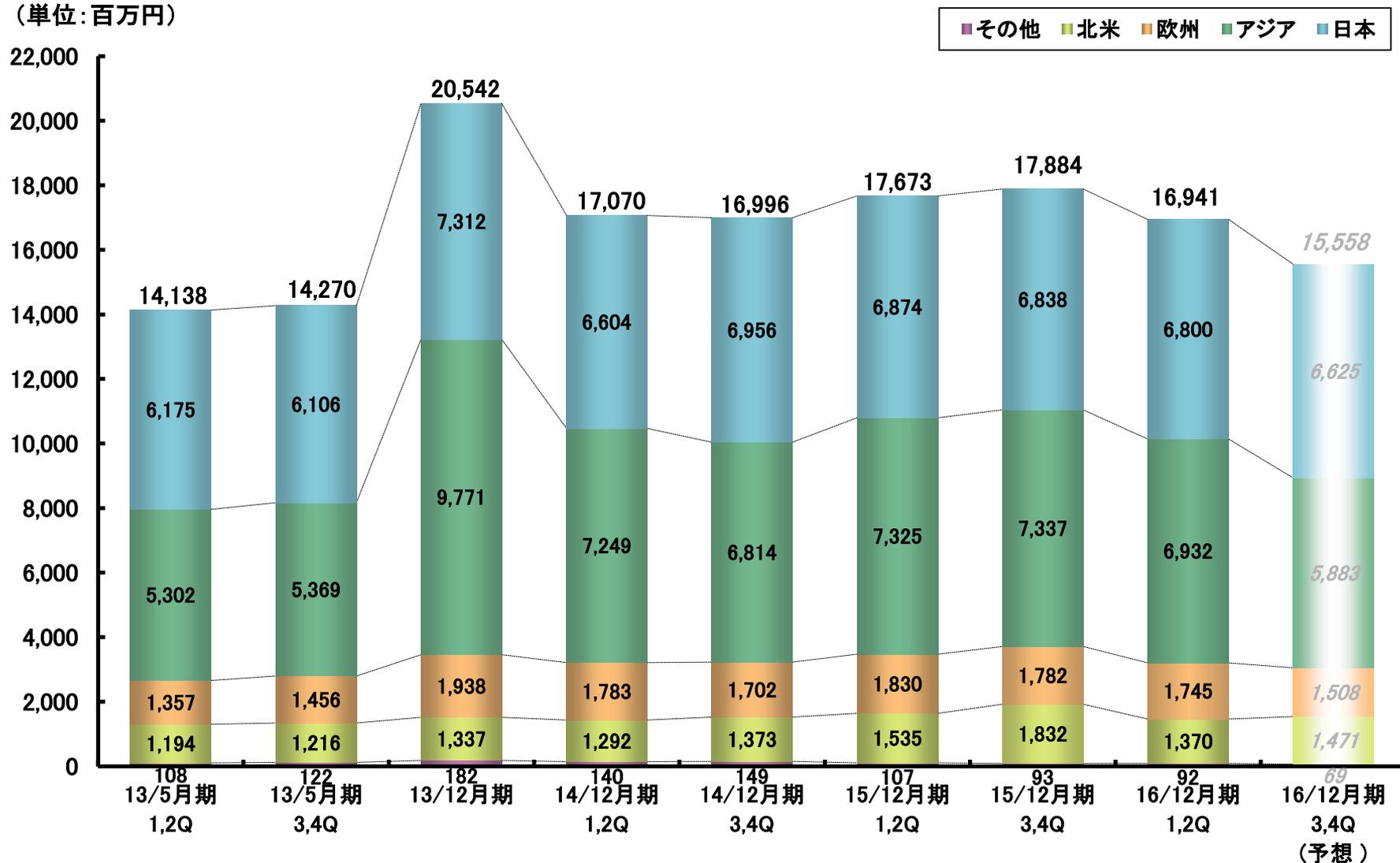


注) 2013年12月期より決算期を5月31日から12月31日に変更いたしました。このため2013年12月期は7ヶ月(一部子会社は9か月)の変則決算となっております。

| 主要製品・分野                 |              | ポイント   |
|-------------------------|--------------|--|
| 特殊黒鉛製品                  | 【エレクトロニクス分野】 | <p>✓ 太陽電池製造用…中国での価格競争は依然継続も、今上期は設備更新需要が売上に貢献。採算性確保に向け値戻しや受注調整実施。</p> <p>✓ 単結晶シリコン製造用…足元堅調だが、顧客在庫適正化により国内外ともに需要一服の見込み。低利益率案件の一部で受注調整実施。</p> |
|                         | 【一般産業分野】     | <p>✓ 放電加工用電極・冶金用(連続 casting 用・工業炉用等)ともに足元の需要堅調。インドネシア・メキシコに拠点新設し、自動車・冶金を中心に顧客開拓推進。</p>   |
| 一般カーボン製品<br>【機械用カーボン分野】 |              | <p>✓ パンタグラフ用すり板は堅調も、軸受等の需要低調。成形・含浸技術の強化に注力。</p>  |
| 一般カーボン製品<br>【電気用カーボン分野】 |              | <p>✓ アジア・欧州とも低調。グローバル製販チェーンの最適化を推進。</p>  |
| 複合材<br>その他<br>製品        | 【主要3製品】      | <p>✓ SiCコーティング黒鉛製品…LED等の化合物半導体向けは国内外で高シェアを維持。顧客要求水準アップによる品質向上、歩留り改善が喫緊の課題。</p>   |
|                         |              | <p>✓ C/Cコンポジット製品…太陽電池・半導体ともに好調。工業炉も他素材からの置き換え需要等により拡販進展。</p>   |
|                         |              | <p>✓ 黒鉛シート製品…エレクトロニクス関連・自動車用等安定して推移。</p>   |

# 第1部 5. 地域別売上高

(単位:百万円)



注) 2013年12月期より決算期を5月31日から12月31日に変更いたしました。このため2013年12月期は7ヶ月(一部子会社は9か月)の変則決算となっております。

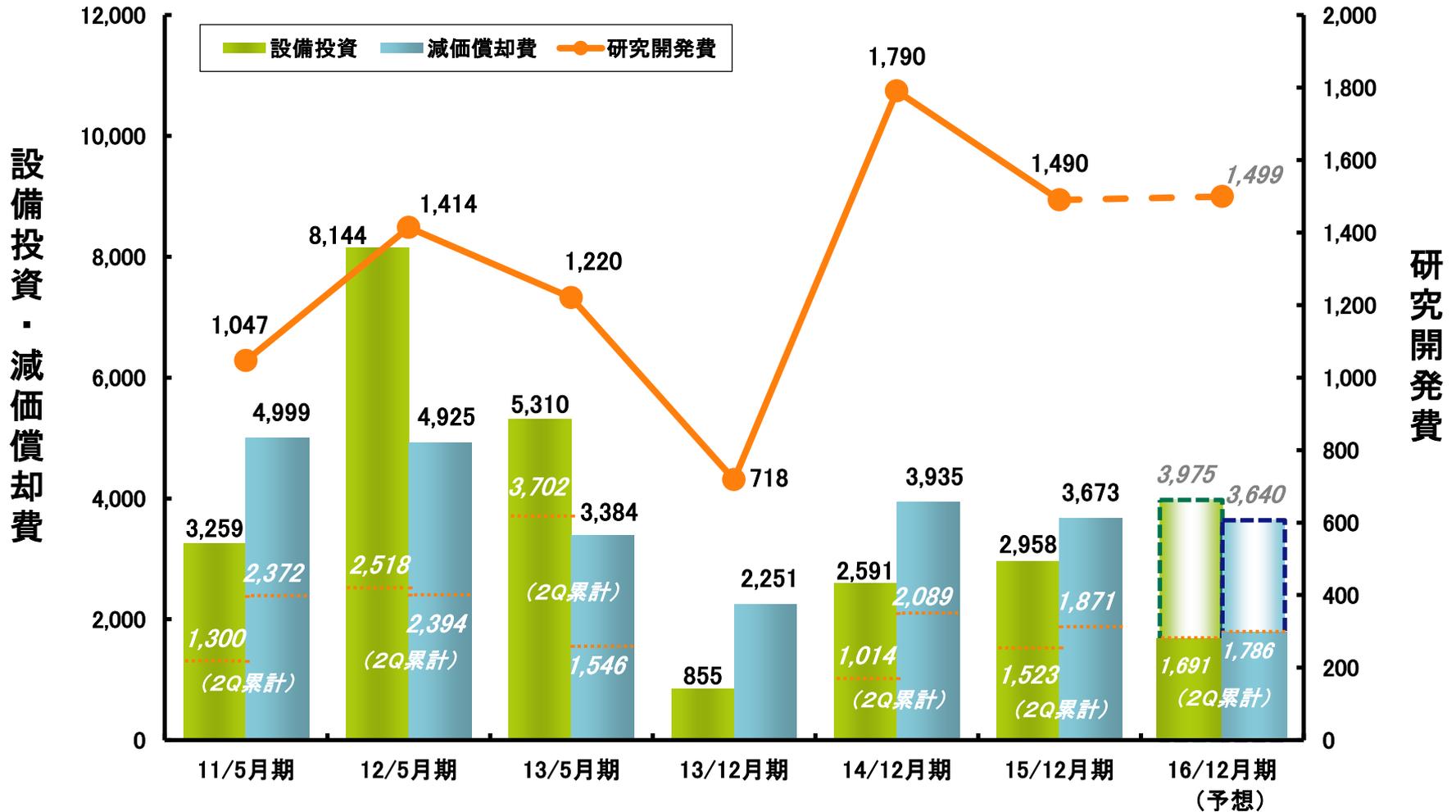
# 第1部 6. 2016年12月期 業績予想

| (単位:百万円)                | 15/12月期                            | 16/12月期                      |  | 増減  |
|-------------------------|------------------------------------|------------------------------|--|---|
|                         |                                    | 予想                           | 内訳   |   |
| 売上高                     | 35,558                             | 32,500                       | 1,2Q実績<br>16,941<br>3,4Q予想<br>15,558   | ▲ 3,058 / ▲ 8.6 %   |
| 営業利益                    | 790                                | 700                          | 1,2Q実績<br>513<br>3,4Q予想<br>186   | ▲ 90 / ▲ 11.4 %   |
| (売上高営業利益率)              | 2.2%                               | 2.2%                         |  |   |
| 経常利益                    | 917                                | 500                          | 1,2Q実績<br>257<br>3,4Q予想<br>242   | ▲ 417 / ▲ 45.5 %  |
| (売上高経常利益率)              | 2.6%                               | 1.5%                         |  |   |
| 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 402                                | 350                          | 1,2Q実績<br>241<br>3,4Q予想<br>108   | ▲ 52 / ▲ 13.0 %   |
| 1株当たり<br>当期純利益          | 19円40銭                             | 16円88銭                       | 1,2Q実績<br>11円65銭<br>3,4Q予想<br>5円23銭  | <営業利益増減要因><br>(2016年12月期1,2Q vs 3,4Q)   |
| 為替レート                   | 121.1円/\$<br>134.3円/€<br>19.2円/人民元 | 100円/\$<br>115円/€<br>15円/人民元 | 1,2Q実績<br>111.9円/\$<br>124.7円/€<br>17.1円/人民元<br>3,4Q予想<br>100円/\$<br>115円/€<br>15円/人民元 | <u>プラス要因</u><br>・固定費削減 0.2億円<br>・在庫関係その他 1.2億円<br><br><u>マイナス要因</u><br>・為替影響額 ▲ 4.6億円 |

# 第1部 7. 設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:百万円)

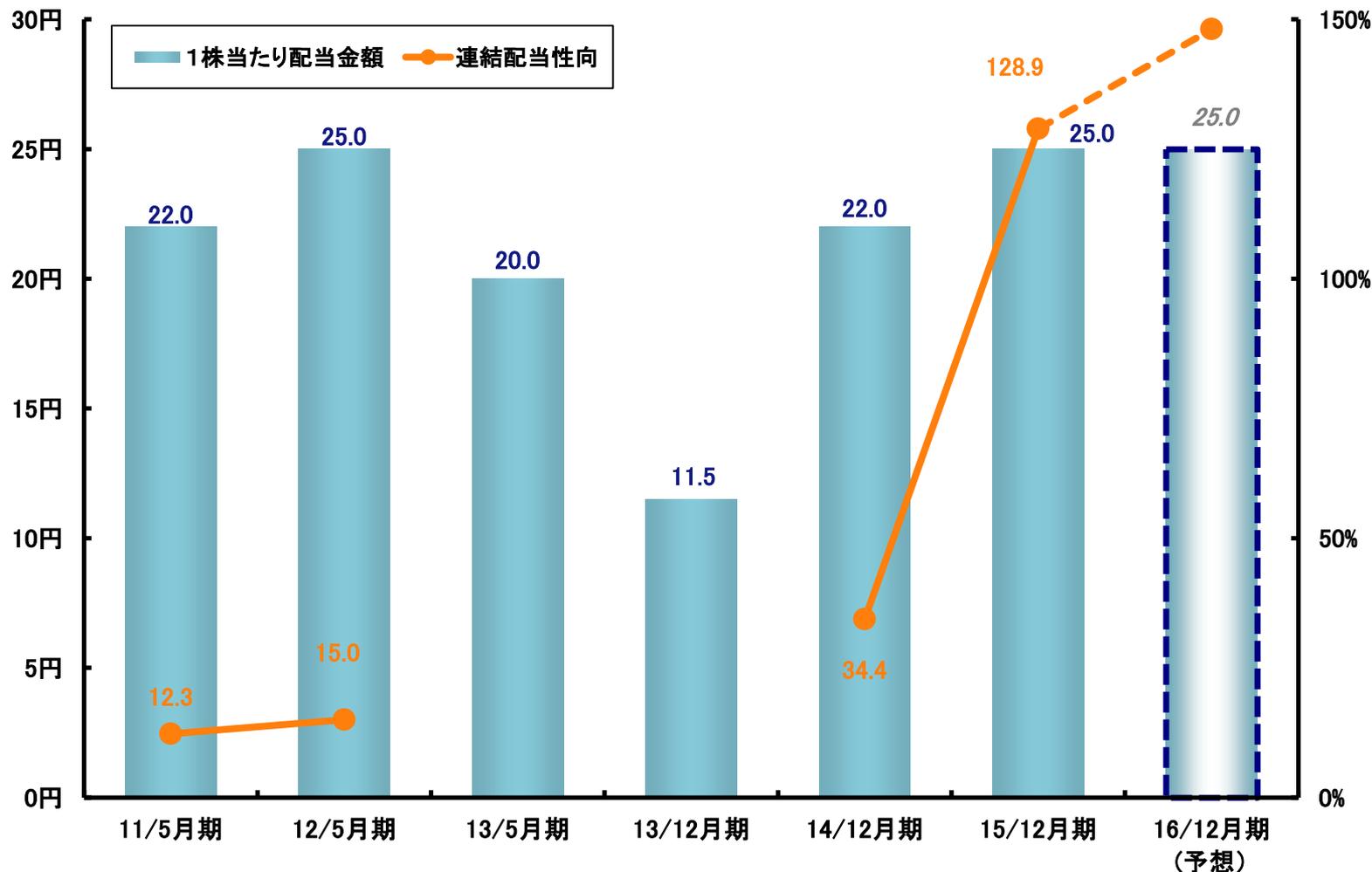
(単位:百万円)



注) 2013年12月期より決算期を5月31日から12月31日に変更いたしました。このため2013年12月期は7ヶ月(一部子会社は9か月)の変則決算となっております。

## 配当金額

## 配当性向



注) 1. 2013年12月期より決算期を5月31日から12月31日に変更いたしました。このため2013年12月期は7ヶ月(一部子会社は9か月)の変則決算となっております。  
 2. 2013年5月期および2013年12月期は親会社株主に帰属する当期純利益がマイナスであったため、連結配当性向については記載しておりません。

# 第1部 9. 2016年12月期第2四半期 連結貸借対照表および連結キャッシュ・フロー計算書

| 連結貸借対照表   | (単位:百万円) |         |        | 連結キャッシュ・フロー<br>計算書   | (単位:百万円)         |                  |
|-----------|----------|---------|--------|----------------------|------------------|------------------|
|           | 15/6月末   | 15/12月末 | 16/6月末 |                      | 15/12月期<br>第2四半期 | 16/12月期<br>第2四半期 |
| 資産合計      | 73,963   | 72,990  | 69,327 | 現金及び現金同等物<br>の四半期末残高 | 8,101            | 7,116            |
| 受取手形及び売掛金 | 13,326   | 13,047  | 11,636 | 現金及び現金同等物<br>の増減額    | ▲ 959            | ▲ 30             |
| たな卸資産     | 17,808   | 17,008  | 16,005 | 現金及び現金同等物<br>の期首残高   | 9,061            | 7,147            |
| 有形固定資産    | 28,396   | 27,016  | 25,769 | 営業活動によるCF            | 2,900            | 2,272            |
| 負債・純資産合計  | 73,963   | 72,990  | 69,327 | 投資活動によるCF            | ▲ 1,806          | ▲ 715            |
| 有利子負債     | 3,404    | 2,669   | 2,236  | 財務活動によるCF            | ▲ 2,080          | ▲ 832            |
| 資本金       | 7,692    | 7,692   | 7,692  |                      |                  |                  |
| 純資産       | 61,037   | 59,487  | 56,976 |                      |                  |                  |
| 自己資本比率    | 80.0%    | 79.6%   | 80.3%  |                      |                  |                  |

東洋炭素株式会社

**2016年12月期第2四半期 決算説明資料**

**第2部 事業構造改革の進捗**

### 事業構造改革における当社連結業績の数値目標(2018年12月期) ～ 今後の事業環境によらず、十分に達成可能な水準 ～

限界利益率3ポイント改善  
(2015年12月期対比)

固定費 20億円削減  
(2015年12月期対比)

➤ 目標へ向けた取り組みを推進中、徐々に成果出つつあるが  
各種施策は今期開始したところであり、本格的な効果発現は来期以降に

営業利益  
30億円

親会社株主に帰属する当期純利益  
20億円

### ①事業の選択・集中

- 採算性を重視した受注調整実施中(売上影響額は今期数億程度の見込み)
- 値戻し交渉実施中

### ②組織の適正化

- 本社管理本部および工場間接部門を集約改廃(2016年4月)
- 開発本部設置により、長期的視点での開発および新規事業開拓の集約管理強化(7月)
- グローバル営業本部設置により、製品分野・販売地域毎に最適な営業活動をグローバルで推進(7月)
- 国内営業拠点(つくば・静岡)の閉鎖決定(12月実施予定)
- 海外拠点の統廃合対象選定中

### ③ 人員の適正化

- (国内)無期雇用者の採用停止、有期雇用者の新規・継続活用の抑制
- (海外)海外拠点における人員構成の見直し実施中

### ④ 経営管理の強化

- 資本収益性を重視した事業継続・撤退判断基準を設定し運用開始
- 米国子会社の管掌役員・執行責任者を刷新  
当社本体による管理・執行によりガバナンス・機能強化(9月より順次)

### 米国事業 ～上記4つの重点施策に加えて～

- 工場(東海岸)を閉鎖し米国本社(西海岸)に事業拠点集約(3月)
- 人員削減実施(20名程度)

# TOYO TANSO

Inspiration for Innovation

(注) 本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、開示時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいますので、実際の業績は、業況の変化などにより異なる場合があります。

<お問合せ先>

東洋炭素株式会社 広報・IR担当

TEL: 06-6472-5811(代) FAX: 06-6472-6007

E-mail: [ir@toyotanso.co.jp](mailto:ir@toyotanso.co.jp)